

基本計画書

基本計画書										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ設置者	カキョウヘイセイ テイコウヘイセイイダク									
フリガナ大学の名称	テイコウヘイセイイダクカクイ									
大学本部の位置	東京都豊島区東池袋二丁目51番4号									
大学の目的	帝京平成大学大学院は、情報学および健康科学・保健医療分野に関する学理及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、広く国際的視野に立って社会の発展に貢献できる有為な人材を養成し、以って文化・教育・医療の進展に寄与することを目的とする。									
新設学部等の目的	<p>本学博士課程では、本学の「実学教育」という人材養成方針のもと、変化し続ける社会環境および看護、看護教育への社会的要請を理解し、学生が専攻する看護学領域・分野における研究課題を的確な臨床判断に基づいて深く掘り下げ、独創的で卓越した高度な研究能力と、幅広い視野と深い学識を基盤とした優れた看護教育研究者と高度な看護実践者の育成を目的とする。</p>									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	看護学研究科 [Graduate School of Nursing Science] 看護学専攻 [Major of Nursing Science] 計	3年	3人	-	9人	博士(看護学) [Doctor of Nursing Science]	令和5年4月 第1年次	東京都中野区中野4丁目21番2号		
	同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	看護学研究科 看護学専攻	講義	演習	実験・実習	計	16単位				
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
	新設分	看護学研究科 看護学専攻 博士課程	教授 12 (12)	准教授 4 (4)	講師 0 (0)	助教 0 (0)	計 16 (16)	助手 0 (0)	5 (5)	
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等					兼任教員等	
	既設分	人文社会学部人間文化学科	8 (8)	5 (5)	14 (14)	4 (4)	31 (31)	0 (0)	75 (75)	
		人文社会学部経営学科 (通信教育課程含む)	20 (20)	13 (13)	12 (12)	10 (10)	55 (55)	0 (0)	69 (69)	
		人文社会学部児童学科	13 (13)	13 (13)	11 (11)	2 (2)	39 (39)	0 (0)	59 (59)	
		人文社会学部観光経営学科	7 (7)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	65 (65)	
		健康メディカル学部理学療法学科	5 (5)	7 (7)	2 (2)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	61 (61)	
		健康メディカル学部作業療法学科	4 (4)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	53 (53)	
								令和4年4月名称変更		

教 員 組 織 の 概 要	既 設	健康メディカル学部言語聴覚学科	6 (6)	0 (0)	4 (4)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	61 (61)	令和4年4月名称 変更
		健康メディカル学部心理学科	5 (5)	3 (3)	4 (4)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	41 (41)	
		健康メディカル学部健康栄養学科	5 (5)	6 (6)	5 (5)	2 (2)	18 (18)	5 (5)	36 (36)	
		健康メディカル学部医療科学科	9 (9)	7 (7)	11 (11)	1 (1)	28 (28)	0 (0)	49 (49)	
		ヒューマンケア学部看護学科	7 (7)	11 (11)	11 (11)	8 (8)	37 (37)	0 (0)	47 (47)	
		ヒューマンケア学部柔道整復学科	7 (7)	2 (2)	4 (4)	6 (6)	19 (19)	4 (4)	69 (69)	
		ヒューマンケア学部鍼灸学科	5 (5)	3 (3)	3 (3)	4 (4)	15 (15)	1 (1)	60 (60)	
		薬学部薬学科	33 (33)	17 (17)	8 (8)	6 (6)	64 (64)	2 (2)	58 (58)	
		健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科 理学療法専攻	4 (4)	3 (3)	4 (4)	5 (5)	16 (16)	0 (0)	21 (21)	
		健康医療スポーツ学部リハビリテーション学科 作業療法専攻	2 (2)	3 (3)	5 (5)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	23 (23)	
		健康医療スポーツ学部柔道整復学科	4 (4)	3 (3)	6 (6)	4 (4)	17 (17)	4 (4)	36 (36)	
		健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科	7 (7)	11 (11)	10 (10)	8 (8)	36 (36)	2 (2)	27 (27)	
		健康医療スポーツ学部看護学科	7 (7)	6 (6)	7 (7)	6 (6)	26 (26)	5 (5)	21 (21)	
		環境情報学研究科環境情報専攻	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		臨床心理学研究科臨床心理学専攻	6 (6)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	12 (12)	1 (1)	4 (4)	
		計	165 (165)	122 (122)	129 (129)	73 (73)	489 (489)	24 (24)	— (—)	
		臨床心理センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	
		助産別科	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	6 (6)	
		計	1 (1)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	6 (6)	0 (0)	— (—)	
		合 計		182 (181)	131 (130)	127 (126)	72 (69)	512 (508)	25 (25)	
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		157 (157)		24 (24)		181 (181)			
	技 術 職 員		7 (7)		0 (0)		7 (7)			
	図 書 館 専 門 職 員		9 (9)		0 (0)		9 (9)			
	そ の 他 の 職 員		1 (1)		7 (7)		8 (8)			
計		174 (174)		31 (31)		205 (205)				
校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		67,326.78㎡	721.00㎡	0㎡		68,047.78㎡			
	運 動 場 用 地		42,254.43㎡	0㎡	0㎡		42,254.43㎡			
	小 計		109,581.21㎡	721.00㎡	0㎡		110,302.21㎡			
	そ の 他		106,025.71㎡	250.00㎡	0㎡		106,275.71㎡			
合 計		215,606.92㎡	971.00㎡	0㎡		216,577.92㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計				
		149,564.35㎡ (149,564.35㎡)	0㎡ (0㎡)	712.17㎡ (712.17㎡)		150,276.52㎡ (150,276.52㎡)				
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体		
	230 室	23 室	165 室	0室 (補助職員 0人)		1室 (補助職員 0人)				

専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学全体			445 室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	300592 [34172] (300592 [34172])	1698 [594] (1698 [594])	5100 [3620] (5100 [3620])	7043 (7043)	10043 (10043)	516 (516)		
	計	300592 [34172] (300592 [34172])	1698 [594] (1698 [594])	5100 [3620] (5100 [3620])	7043 (7043)	10043 (10043)	516 (516)		
図書館		面積 8,087.89 m ²		閲覧座席数 1,911席		収納可能冊数 433,000冊			
体育館		面積 6,946.14 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート、フットサルコート等					
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教授	/	547千円	547千円	547千円	547千円	547千円	547千円
	教員1人当り研究費等	准教授	/	398千円	398千円	398千円	398千円	398千円	398千円
		講師	/	268千円	268千円	268千円	268千円	268千円	268千円
		助教	/	169千円	169千円	169千円	169千円	169千円	169千円
		助手	/	70千円	70千円	70千円	70千円	70千円	70千円
	共同研究費等	/	52,490千円	52,490千円	52,490千円	52,490千円	/	/	
/		59,410千円	59,410千円	59,410千円	59,410千円	59,410千円	59,410千円		
図書購入費	148,395千円	148,395千円	148,395千円	148,395千円	/	/	/		
設備購入費	595,000千円	595,000千円	595,000千円	595,000千円	/	/	/		
維持方法の見積り及び概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		看護学研究科 看護学専攻	1,160千円	9,600千円	9,600千円	/	/	/	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						
既設大学等の状況	大学の名称								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	人文社会学部 人間文化学科 人間文化専攻	年	人	年次人	人	学士 (人間文化学)	1.04 1.12	平成17年度	東京都中野区中野 4-21-2
	経営学科	4	210	—	850	学士 (経営学)	1.03	平成17年度	同上
	児童学科	4	415	—	1670	学士 (児童学)	0.94	平成18年度	同上
観光経営学科	4	200	—	800	学士 (経営学)	1.09	平成25年度	同上	
		4	118	—	482				※平成31年編入学定員減(3人) ※令和4年入学定員増(60人) 編入学定員増(5人)
									※平成31年編入学定員減(5人) ※令和4年入学定員増(20人)
									※平成31年編入学定員減(5人)
									※平成31年編入学定員減(3人) ※令和4年入学定員増(20人) 編入学定員増(5人)

既設大学等の状況	健康リハビリ学部						0.96					
	理学療法学科	4	100	—	400	学士 (理学療法学)	0.93	平成14年度	東京都豊島区東池袋2-51-4	※平成30年度入学定員増(20人)		
	作業療法学科	4	60	—	240	学士 (作業療法学)	0.95	平成14年度	同上			
	言語聴覚学科	4	60	—	240	学士 (言語聴覚学)	0.82	平成14年度	同上			
	臨床心理学科	4	116	—	446	学士 (心理学)	1.10	平成14年度	同上	※平成31年入学定員増(18人) 編入学定員減(3人)		
	健康栄養学科	4	77	2年次1 3年次1	313	学士 (栄養学)	0.91	平成18年度	同上	※平成31年編入学定員減(3人)		
	医療科学科	4	180	—	720	学士 (健康科学)	0.94	平成22年度	同上			
	ヒューマンケア学部						0.96					
	看護学科	4	129	—	516	学士 (看護学)	0.96	平成16年度	東京都中野区中野4-21-2	※平成30年度入学定員増(10人) ※平成31年度編入学定員減(2人)		
	柔道整復学科	4	119	3年次1	478	学士 (保健科学)	1.01	平成21年度	東京都豊島区東池袋2-51-4	※平成30年度入学定員増(30人) ※平成31年度編入学定員減(1人)		
	鍼灸学科	4	89	3年次1	358	学士 (保健科学)	0.92	平成21年度	同上	※平成31年度編入学定員減(1人)		
	薬学部						0.91					
	薬学科	6	200	—	1,200	学士 (薬学)	0.91	平成18年度	東京都中野区中野4-21-2	※平成31年度編入学定員減(2人) ※令和4年入学定員減(20人)		
	健康医療スポーツ学部						0.94					
	リハビリテーション学科	4	80	—	160	学士 (リハビリテーション学)	1.13	令和3年度	千葉県市原市うるいど南4丁目1番地			
	理学療法専攻 リハビリテーション学科	4	40	—	80	学士 (リハビリテーション学)	0.57	令和3年度	同上			
	作業療法専攻 理学療法学科	4	—	—	—	学士 (理学療法学)	—	平成20年度	同上	※令和3年度より学生募集停止(理学療法学科)		
	作業療法学科	4	—	—	—	学士 (作業療法学)	—	平成20年度	同上	※令和3年度より学生募集停止(作業療法学科)		
	柔道整復学科	4	60	—	240	学士 (柔道整復学)	1.12	平成20年度	同上			
	医療スポーツ学科	4	270	—	1080	学士 (保健科学)	1.13	平成22年度	同上	※平成29年度入学定員増(50人) ※令和4年入学定員増(80人)		
	看護学科	4	135	—	540	学士 (看護学)	0.79	平成25年度	千葉県市原市ちはら台西6-19			
	現代ライフ学部 経営学科 (通信教育課程)		220	2年次20 3年次30	1000	学士 (経営学)	0.13	平成17年度	東京都中野区中野4-21-2			
	大学院											
環境情報学研究科						0.00						
環境情報学専攻 (修士課程)	2	25	—	50	修士 (情報学)	0.00	平成4年度	東京都中野区中野4-21-2				
環境情報学専攻 (博士課程)	3	5	—	15	博士 (情報学)	0.00	平成6年度	同上				

既設大学等の状況	健康科学研究科						0.34			
	健康科学専攻(博士課程)	3	5	—	15	博士(健康科学)	0.46	平成17年度	東京都豊島区東池袋2-51-4	
	健康栄養学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.33	平成24年度	同上	
	理学療法学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.83	平成24年度	同上	
	作業療法学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.00	平成24年度	同上	
	言語聴覚学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.33	平成26年度	同上	
	病院前救急医療学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.16	平成26年度	同上	
	鍼灸学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.33	平成24年度	同上	
	柔道整復学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(健康科学)	0.16	平成24年度	同上	
	臨床心理学専攻(博士課程)	3	2	—	6	博士(健康科学)	0.00	平成19年度	同上	
	臨床心理学研究科						1.06			
	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	2	15	—	30	臨床心理修士(専門職)	1.06	平成23年度	東京都豊島区東池袋2-51-4	
	薬学研究科						0.10			
	薬学専攻(博士課程)	4	5	—	20	博士(薬学)	0.10	平成24年度	東京都中野区中野4-21-2	
看護学研究科						0.83				
看護学専攻(修士課程)	2	3	—	6	修士(看護学)	0.83	平成29年度	東京都中野区中野4-21-2		
環境情報学研究科						0.01				
環境情報学専攻(修士課程(通信制))	2	50	—	100	修士(情報学)	0.01	平成12年度	東京都中野区中野4-21-2		
附属施設の概要	<p>名称：帝京池袋接骨院 目的：柔道整復の実習を行うため 所在地：東京都豊島区東池袋2-51-4 帝京平成大学本館1F 設置年月：平成20年6月 規模等：123.9㎡</p> <p>名称：帝京池袋鍼灸院 目的：鍼灸の実習を行うため 所在地：東京都豊島区東池袋2-51-4 帝京平成大学本館1F 設置年月：平成20年6月 規模等：29.20㎡</p> <p>名称：薬草園 目的：薬学部設置のため 所在地：東京都中野区中野4-21-2 設置年月：令和4年度 規模等：設置中のため未定</p> <p>名称：帝京市原接骨院 目的：柔道整復の実習を行うため 所在地：千葉県市原市ちはら台西6丁目19番 設置年月：平成19年4月 規模等：224.10㎡</p> <p>名称：帝京平成大学臨床心理センター 目的：臨床心理学研究科臨床心理学専攻(専門職学位課程)の実習を行うため 所在地：東京都豊島区東池袋4-26-10 帝京平成大学1号館2F 設置年月：平成19年4月 規模等：712.17㎡</p> <p>名称：帝京池袋鍼灸臨床センター 目的：鍼灸の実習を行うため 所在地：東京都豊島区東池袋2-51-4 帝京平成大学本館1F 設置年月：平成24年4月 規模等：72.24㎡</p>									

附属施設の概要	名称：帝京サンシャイン前接骨院 目的：柔道整復の実習を行うため 所在地：東京都豊島区東池袋4-26-10 帝京平成大学1号館1F 設置年月：令和元年11月 規模等：185.08㎡	
---------	---	--

教育課程等の概要															
(看護学研究科看護学専攻博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護研究特講	1前	2			○			3						オムニバス
	高度実践病態生理学特講	1後	1			○			3	1					オムニバス
	応用統計学特講	1後	1			○			1						
	看護哲学・理論特講	1前	1			○			2						オムニバス・共同(一部)
	学際的看護ケア特講	1後	1			○			2						オムニバス・共同(一部)
	小計(5科目)		—	6			—		8	1	0	0	0	兼5	—
専門科目	基盤看護学領域	看護教育・キャリア開発特講	1前		2		○			2					オムニバス・共同(一部)
		看護教育・キャリア開発演習	1後		2		○			2					オムニバス・共同(一部)
		看護倫理学特講	1前		2		○			1					
		看護倫理学演習	1後		2		○			1					
	ケア実証看護学領域	成人・高齢者看護実践開発特講	1前		2		○			4	1				オムニバス・共同(一部)
		成人・高齢者看護実践開発演習	1後		2		○			4	1				オムニバス
		小児看護学実践開発特講	1前		2		○			2	1				オムニバス・共同(一部)
		小児看護学実践開発演習	1後		2		○			2	1				オムニバス・共同(一部)
	地域包括看護学領域	地域・在宅支援看護学特講	1前		2		○			5	2				オムニバス
		地域・在宅支援看護学演習	1後		2		○			5	2				オムニバス
		地域保健看護学特講	1前		2		○			1					
		地域保健看護学演習	1後		2		○			1					
	小計(12科目)		—	0	24		—		11	4	0	0	0	0	—
	研究科目	看護学特別研究	1~3通	6						9	4				
小計(1科目)		—	6			—		9	4	0	0	0	0	—	
合計(18科目)		—	12	4		—		12	4	0	0	0	兼5	—	
学位又は称号		博士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
共通科目より必修6単位、専門科目より選択4単位以上、研究科目より必修6単位、合計16単位以上を修得すること。また、学位論文の基礎となる原著論文1編以上(筆頭著者:査読のある学会誌に掲載または掲載予定証明書の提出)を提出し、博士論文の審査及び試験に合格すること。							1 学年の学期区分			2期					
							1 学期の授業期間			15週					
							1 時限の授業時間			90分					

教 育 課 程 等 の 概 要														
(看護学研究科看護学専攻修士課程)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 科目	看護学研究方法特論	1前	2			○			2					
	保健統計学特論	1前	2			○			3					
	看護倫理学特論	1前	2			○			2					
	看護管理学特論	1前		2		○			1					
	看護教育学特論	1前		2		○			1					
	フィジカルアセスメント特論	1前		2		○			1					
	遺伝・感染学特論	1前		2		○			1					
	病態生理学特論	1前		2		○			1					
小計(8科目)	—	6	10	0	—	—	—	7	0	0	0	0	—	
専門 領域 科目	基礎看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○			2					
	基礎看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○			2					
	基礎看護学実践演習	1通		4			○		2					
	成人看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○			1	1				
	成人看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○			1	1				
	成人看護学実践演習	1通		4			○		1	1				
	老年看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○				1				
	老年看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○				1				
	老年看護学実践演習	1通		4			○			1				
	小児看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○			1	1				
	小児看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○			1	1				
	小児看護学実践演習	1通		4			○		2	1				
	精神看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○					1			
	精神看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○					1			
	精神看護学実践演習	1通		4			○				1			
	母性看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○				1				
	母性看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○				1				
	母性看護学実践演習	1通		4			○			1				
	在宅看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○			1	1				
	在宅看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○			1	1				
	在宅看護学実践演習	1通		4			○		1	1				
	公衆衛生看護学実践特論Ⅰ	1通		2		○			3					
	公衆衛生看護学実践特論Ⅱ	1通		2		○			2	1				
	公衆衛生看護学実践演習	1通		4			○		2	1				
小計(24科目)	—	0	64	0	—	—	—	9	6	1	0	0	—	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(看護学研究科看護学専攻修士課程)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
研究科目	看護学特別研究	1～2通	12				○		13	6				
	小計（1科目）	—	12	0	0	—			13	6	0	0	0	—
合計（33科目）		—	18	74		—			13	6	1	0	0	—
学位又は称号		修士（看護学）		学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係）							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
共通科目より必修8単位、専門科目より選択8単位以上、研究科目より必修12単位、合計26単位、全科目群から選択4単位以上を修得すること。また、学位論文の基礎となる原著論文1編以上(筆頭著者:査読のある学会誌に掲載または掲載予定証明書の提出)を提出し、修士論文の審査及び試験に合格すること。							1 学年の学期区分				2期			
							1 学期の授業期間				15週			
							1 時限の授業時間				90分			

教育課程等の概要															
(ヒューマンケア学部看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	フレッシュセミナーⅠA	1前	1				○			4			2		
	フレッシュセミナーⅠB	1後	1				○			4			2		
	フレッシュセミナーⅡA	2前	1				○			2	2		1		
	フレッシュセミナーⅡB	2後	1				○			2	2		1		
	アドバンスセミナーⅠ	3通年	1				○			2	1	1			
	アドバンスセミナーⅡ	4通年	1				○			1	1		2		
	基礎医療英語Ⅰ	1前	1				○				1			兼3	
	基礎医療英語Ⅱ	1後	1				○				1			兼3	
	コンピュータ演習	1前	2					○							兼4
	国際コミュニケーションⅠ	1通年		4			○								兼1
	国際コミュニケーションⅡ	1通年		4			○								兼1
	国際コミュニケーションⅢ	1通年		4			○								兼1
	心理学	1前	2				○								兼1
	発達心理学	1前		2			○								兼1
	命とこころ	1前		2			○								兼2
	論理学	1前	2				○				1				兼1
	教育原理	1後		2			○								兼1
	生涯学習論	1前		2			○								兼2
	地域生涯学習論	1後		2			○								兼1
	メディアと教育	1後		2			○								兼1
	日本国憲法	1後	2				○								兼1
	社会学	1後		2			○								兼1
	ボランティア論	1後		2			○								兼2
	地球環境と防災	1前		2			○								兼1
	ライフサイエンス	1前		2			○								兼1
	データサイエンス入門	1後		2			○								兼1
	コンピュータ概論	1後		2			○								兼1
	コンピュータ実践演習Ⅰ	2前		1				○							兼1
	コンピュータ実践演習Ⅱ	2後		1				○							兼1
	レクリエーション論	1前		2			○								兼2
	レクリエーション実技Ⅰ	1前		1					○						兼1
	レクリエーション実技Ⅱ	1後		1					○						兼1
	就職支援A	1前		2			○								兼1
	就職支援B	1後		2			○								兼1
	ホリデー留学	1通年		4					○						兼1
小計(35科目)		-	16	50	0		-			3	9	3	4	0	兼29
専科門目基	人体構造学	1前	1				○								兼1
	人体生理学	1通年	2				○								兼1
	生化学	1前	1				○								兼1

教育課程等の概要															
(ヒューマンケア学部看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	微生物・免疫学	1後	1			○			1						兼1
	病因病態学	1後	2			○									
	疾病の歴史	1後		2		○				1					
	臨床医学Ⅰ	1前	1			○			1	1					
	臨床医学Ⅱ	1後	1			○			1						
	臨床医学Ⅲ	2前	1			○								兼1	
	臨床医学Ⅳ	1後	1			○				1				兼2	
	精神医学	2前	1			○								兼1	
	リハビリテーション学	1後	1			○								兼1	
	栄養学	1前	1			○								兼1	
	薬の科学	2前	1			○								兼3	
	臨床薬剤学	4後	1			○								兼3	
	公衆衛生学	1前	2			○			2	1					
	疫学Ⅰ	2前	1			○								兼1	
	保健統計学	2前	1			○								兼1	
	保健情報リテラシー	2後	1			○			1						
	社会福祉	1前	1			○								兼1	
	保健医療福祉行政論Ⅰ	2前		2		○			1	1					
	保健医療社会学	1前	1			○				1					
	関係法規	1後	1			○								兼1	
臨床心理学	1後	2			○								兼1		
社会保障	2前	1			○								兼1		
地域福祉	1前		2		○								兼1		
児童福祉	1後		2		○								兼1		
小計(27科目)		-	12	6	0	-			3	3	0	0	0	兼23	
専門科目	看護学概論	1前	1			○			1						
	ヘルスアセスメントⅠ	1後	1					○		3	1	2			
	ヘルスアセスメントⅡ	2前	1					○		3	1	2			
	看護倫理と医療安全	3前	1			○			1						
	基礎看護学実践Ⅰ	1通年	2					○	1	3	1	2			
	基礎看護学実践Ⅱ	2前	2					○		3	1	2			
	基礎看護学実践Ⅲ	2前	1					○	1	3	1	2			

教育課程等の概要														
(ヒューマンケア学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	基礎看護学実践Ⅳ	2後	2				○			3	1	2		
	小計(8科目)	-	11	0	0		-		1	3	1	2	0	0
	地域・在宅看護概論	2前	1			○			1			1		
	地域・在宅看護論実践Ⅰ	2後	2				○		1	1		1		
	地域・在宅看護論実践Ⅱ	3前	2				○		1	1		1		
	地域・在宅看護論実践Ⅲ	4通年	1				○		1	1		1		
	小計(4科目)	-	6	0	0		-		1	1	0	1	0	0
	成人看護学概論	1後	1			○			1					
	成人看護学実践Ⅰ	2前	1			○				1				
	成人看護学実践Ⅱ	2後	1			○					1			
	成人看護学実践Ⅲ	2前	1			○					2			
	成人看護学実践Ⅳ	2後	1			○					2			
	成人看護学実践Ⅴ	3通年	1					○	1	2	3	1		
	成人看護学実践Ⅵ	3前	1				○		1	2	3	1		
	小計(7科目)	-	7	0	0		-		2	3	3	2	0	0
	老年看護学概論	1後	1			○				1	1	2		
	老年看護学実践Ⅰ	2前	1				○			1	1	2		
	老年看護学実践Ⅱ	2後	1				○			1	1	2		
	老年看護学実践Ⅲ	3前	1				○			1	1	2		
	小計(4科目)	-	4	0	0		-		0	1	1	2	0	0
小児看護学概論	1後	1			○			1						
小児看護学実践Ⅰ	2前	1			○			1			2			
小児看護学実践Ⅱ	2後	1			○			1			2			
小児看護学実践Ⅲ	3前	1				○		1			2			
小計(4科目)	-	4	0	0		-		1	0	0	2	0	0	
母性看護学概論	1後	1			○				2	1				
母性看護学実践Ⅰ	2前	1			○				1	1	1			
母性看護学実践Ⅱ	2後	1				○			1	1	1			
母性看護学実践Ⅲ	3通年	1				○			3	2	1			
小計(4科目)	-	4	0	0		-		0	3	2	1	0	0	
精神看護学概論	1後	1			○					1				
精神看護学実践Ⅰ	2前	1			○					1	2			
精神看護学実践Ⅱ	2後	1				○				1	2			

教育課程等の概要														
(ヒューマンケア学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
精神看護学	精神看護学実践Ⅲ	3前	1				○				1	2		
	小計(4科目)	-	4	0	0		-		0	0	1	2	0	0
看護の統合と実践	看護研究	3前	1				○		1	1	1			
	卒業研究	3通年	2				○		1	1	1			
	応用看護論	4通年	1					○	3	3	2	4		
	看護管理学	4通年	1			○			1					
	災害看護学	3前	1			○			1					兼1
	国際看護学	3前	1			○					1			
	特別総合演習	4通年	2				○		4	7	3			兼2
	小計(7科目)	-	9	0	0		-		7	11	5	4	0	兼3
専門科目	基礎看護学実習Ⅰ	1通年	1					○	1	3	1	2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2通年	2					○		3	1	2		
	地域・在宅看護論実習	3通年	3					○	1	1		1		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3通年	3					○	1	2	3	1		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	3通年	2					○	1	2	3	1		
	成人・老年看護学実習Ⅲ	3通年	3					○		1	1	2		
	成人・老年看護学実習Ⅳ	3通年	1					○		1	1	2		
	小児看護学実習	3通年	2					○	1			2		
	母性看護学実習	3通年	2					○		3	2	1		
	精神看護学実習	3通年	2					○			1	2		
	統合実習	4通年	2					○	1	1	2	1		
小計(11科目)	-	23	0	0		-		4	13	10	11	0	0	
保健師課程	公衆衛生看護学概論	2後		1		○			1					
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2後		2		○			1	1				
	公衆衛生看護活動論Ⅱ	2後		2		○			1					
	公衆衛生看護活動論Ⅲ	3前		2		○			1	1				
	公衆衛生看護活動論Ⅳ	3前		2			○		1	1				
	公衆衛生看護管理論	3前		2			○		2	1				
	疫学Ⅱ	2前		1		○								兼1
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4通年		2		○			2	1				
	公衆衛生看護学実習	4通年		5				○	2	1				
小計(9科目)	-	0	19	0		-		2	1	0	0	0	1	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(ヒューマンケア学部看護学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
助 産 師 課 程	基礎助産学概論Ⅰ	2後		2		○				2					兼1 兼1
	基礎助産学概論Ⅱ	2後		2		○				1					
	基礎助産学概論Ⅲ	2後		2			○			1	1				
	助産診断・技術学Ⅰ	3前		2				○		2	1				
	助産診断・技術学Ⅱ	3前		2				○		1					
	助産診断・技術学Ⅲ	3前		2				○		3	2	1			
	助産診断・技術学Ⅳ	4前		2		○									
	地域母子保健	3前		2			○			1	1				
	助産管理	3前		2		○				2					
課 程 助 産 師	助産学実習	4通年		11				○		3	2	1			
	小計(10科目)	-	0	29	0	-			0	4	3	1	0	兼1	—
合計(134科目)		-	100	104	0	-			7	13	8	11	0	兼45	—
学位又は称号		学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む) (履修科目の登録の上限49単位(年間)) ただし、「教養科目」の必修科目以外の科目から合計7単位、「専門基礎科目」の必修科目以外の科目から合計2単位以上修得すること。							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	フレッシュセミナーⅠA	1前	1				○			1	4	2		
	フレッシュセミナーⅠB	1後	1				○			1	4	1		
	フレッシュセミナーⅡA	2前	1				○			1	1	2		
	フレッシュセミナーⅡB	2後	1				○			1	1	2		
	アドバンスセミナーⅠ	3通年	1				○		3	3		2		
	アドバンスセミナーⅡ	4通年	1				○		1		1	1		
	基礎医療英語Ⅰ	1前	1			○								兼2
	基礎医療英語Ⅱ	1後	1			○								兼2
	コンピュータ演習	1前	2				○							兼3
	日本国憲法	1前	2			○								兼1
	心理学	1前	2			○								兼2
	人間関係論	1後	2			○								兼1
	レクリエーション実技Ⅰ	1前		1				○						兼1
	レクリエーション実技Ⅱ	1後		1				○						兼1
	レクリエーション論	1後	2			○								兼1
	コミュニケーション論	1後		2		○								兼1
	社会保障	1前		2		○								兼1
	生涯福祉	1前		2		○								兼1
	からだのしくみ	1前		2		○								兼1
	健康とスポーツ	1後		2		○								兼1
	ホリデー留学	1通年		2				○						兼1
小計(21科目)	-		18	14	0		-		4	5	5	6	0	兼14
専門基礎科目	人体の構造	1前	2			○								兼1
	人体の機能Ⅰ	1前	1			○			1					
	人体の機能Ⅱ	1前	1			○			1					
	生化学	1前	1			○								兼2

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	臨床栄養学	3前	1			○								兼1
	薬物治療学	3前	1			○								兼1
	微生物・感染・免疫学	1後	1			○			1					
	病因病態学	1後	2			○			1					
	臨床医学Ⅰ(内科系・小児)	1後	1			○								兼1
	臨床医学Ⅱ(外科系)	2前	1			○								兼1
	臨床医学Ⅲ(運動・神経・感覚器)	2前	1			○								兼1
	臨床医学Ⅳ(女性・周産期医学)	2前	1			○			1					兼1
	精神医学	1後	1			○								兼1
	リハビリテーション論	3前	1			○								兼1
	看護と福祉	1前	2			○								兼1
	保健医療福祉行政論	2前	2			○								兼1
	保健医療社会学	1前	1			○								兼1
	関係法規	1後	1			○					1			
	公衆衛生学	1後	1			○					1			
	疫学Ⅰ	2前	1			○					1			
	保健統計学Ⅰ	2前	1			○			1					
	保健統計学Ⅱ	2後	1					○			2			
	小計(22科目)		-	26	0	0			-	3	0	2	0	0
専門科目	看護学概論	1前	2			○			1					
	看護理論・看護過程展開論	2前	2			○			1	1	1	2		

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ヘルスアセスメント	2前	1			○				1	1	2		
	基礎看護技術Ⅰ	1前	2				○		1	1	1	2		
	基礎看護技術Ⅱ	1後	2				○			1	1	2		
	基礎看護技術Ⅲ	2後	2				○			1	1	2		
	地域看護学概論	1後	1			○			1					
	在宅看護学	2前	1			○				1				
	在宅看護学方法論Ⅰ	2後	1			○				1		1		
	在宅看護学方法論Ⅱ	3前	1			○				1		1		
	在宅看護学演習	3前	1				○			1		1		
	家族看護学	2前	1			○					1			
	精神看護学概論	1後	1			○				1		1		
	精神看護学方法論Ⅰ	2前	1			○				1		1		
	精神看護学方法論Ⅱ	2後	1			○				1		1		
	精神看護学演習	3前	1				○			1		1		
	成人看護学概論	1後	1			○			1					
	成人看護学方法論Ⅰ	2前	1			○			1	1	1			
	成人看護学方法論Ⅱ	2後	1			○				1				
	成人看護学方法論Ⅲ	2前	1			○			1		2			
	成人看護学方法論Ⅳ	2後	1			○					1			
	成人看護学方法論Ⅴ	2前	1			○					1			
成人看護技術Ⅰ	3前	1				○		1	1	2				

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	成人看護技術Ⅱ	3前	1				○		1	1	2			
	老年看護学概論	1後	1			○			1					
	老年看護学方法論Ⅰ	2前	1			○			1					
	老年看護学方法論Ⅱ	2後	1			○				1				
	老年看護学演習	3前	1				○			1				
	母性看護学概論	1後	1			○			1					
	母性看護学方法論Ⅰ	2前	1			○			1			1		
	母性看護学方法論Ⅱ	2後	1			○			1	1				
	母性看護技術	3前	1				○		1	1		1		
	小児看護学概論	1後	1			○				1				
	小児看護学方法論Ⅰ	2前	1			○				1		1		
	小児看護学方法論Ⅱ	2後	1			○				1		2		
	小児看護技術	3前	1				○			1		2		
	健康教育・学習学	1後	1			○					1			
	看護管理・医療安全	3前	1			○			1					
	看護倫理学	3前	1			○			1					
	国際看護学	4通年		1		○			1	1	1	1		
	災害看護学	4通年		1		○			1		2			
	看護研究	3前	2				○				1			
	卒業研究	3通年	3				○		5	5	5	5		
特別総合演習Ⅰ	4前	1				○		1	1	1				

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	特別総合演習Ⅱ	4後	1				○		1	1	1			
	基礎看護学実習Ⅰ	1通年	1					○	1	7	5	7		
	基礎看護学実習Ⅱ	2通年	2					○	1	7	5	6		
	成人・老年看護学実習Ⅰ	3通年	3					○	1	1	2			
	成人・老年看護学実習Ⅱ	3通年	3					○	1	1	2			
	成人・老年看護学実習Ⅲ	3通年	4					○	1	1				
	小児看護学実習	3通年	2					○		1		2		
	母性看護学実習	3通年	2					○	1	1		1		
	精神看護学実習	3通年	2					○		1		1		
	在宅看護学実習	3通年	2					○		1		1		
	統合実習	4通年	2					○	3	6	5	5		
小計(55科目)	-	74	2	0			-	5	7	5	6	0	0	
保健師課程	公衆衛生看護学概論	2後		1		○			1					
	公衆衛生看護活動展開論	3前		2		○					1			
	公衆衛生看護管理論	3前		2			○				1			
	学校保健論	2後		2		○					1			
	産業保健論	2後		2		○					1			
	疫学Ⅱ	2後		1		○			1					
	公衆衛生看護学実習	4通年		5				○	1		2			
小計(7科目)		0	15	0			-	1	0	2	0	0	0	

教育課程等の概要														
(健康医療スポーツ学部看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
助産師課程	助産学概論	2後		1		○			1					
	基礎助産学	2後		2		○			2	1				
	助産診断・技術学Ⅰ	3前		2				○	1	1		1		
	助産診断・技術学Ⅱ	3前		2				○	2	1		1		
	助産診断・技術学Ⅲ	3前		2				○	2	1		1		
	助産診断・技術学Ⅳ	3前		2		○			2	1		1		兼1
	助産診断・技術学Ⅴ	3前		2		○			2					
	地域母子保健	3前		1				○	1					
	助産管理	3前		1		○				1				
	助産学実習	4通年		7				○	1	1		1		
小計(10科目)			0	22	0	—			2	1	0	1	0	兼1
合計(115科目)		-	118	53	0	—			7	7	5	7	0	兼23
学位又は称号		学士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
124単位以上を修得すること。(必修科目を含む) (履修科目の登録の上限49単位(年間)) ただし「教養科目」の必修科目以外から2単位以上修得すること。							1学年の学期区分			2期				
							1学期の授業期間			15週				
							1時限の授業時間			90分				

授 業 科 目 の 概 要			
(看護学研究科看護学専攻)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通 科目	看護研究特講	<p>(概要) 修士課程で修得した量的研究手法(実態調査研究・疫学的研究など)および質的研究手法(ナラティブリサーチ・アクションリサーチなど)の理解をさらに深める。そのうえで、看護の現象(QOL・ADL・ストレスなど)について、数量的に測定し客観的視点からデータの差や違いを明らかにする能力や、言葉や行動などを介してその根底に内在する意味を解釈し新たな知見を得ようとする質的データの信頼性を検証するための能力を養う。また、研究者として遵守すべき研究倫理に関する基本的な姿勢を修得する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(① 吉澤 千登勢/6回) 看護研究の意義と目的・質の高い研究計画書の書き方、研究倫理(責任ある研究活動=知識・スキル・姿勢、研究不正)について講義する。また量的・質的研究論文のクリティークを通して、研究方法や遂行力についての理解を深める。</p> <p>(9 善福 正夫/5回) 文献検索の方法(演習を含む)と量的研究の特徴と技法・適応範囲と限界について教授する。</p> <p>(10 益田 育子/4回) 質的研究の特徴と技法・適応範囲と限界について教授する。</p>	オムニバス方式
	高度実践病態生理学特講	<p>(概要) 代表的疾患の病態生理について理解し、エビデンスに基づいた症状アセスメントや、病態に即した質の高い療養生活をマネジメントすることができる能力を修得する。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(11 榎本 雪/3回) 高次脳機能および運動機能障害、認知症など、神経内科領域の各疾患に関する最新の知識について教授する。また、検査項目の測定値から読み解く病態(病態検査学)について教授する。</p> <p>(② 小林 ひとみ/2回) 内科学・膠原病学・循環器内科学に関する病態生理および病因について、最新の知識を教授する。</p> <p>(7 大野 哲生/2回) 運動生理学(筋ポンプ・骨・神経)に関する最新の知識を教授する。</p> <p>(⑦ 中村 こそえ/1回) 小児科学・血液内科学・腫瘍学に関する最新の知識を教授する。</p>	オムニバス方式
	応用統計学特講	<p>(概要) 「量的看護研究特論」での学修成果をもとに、統計解析ソフトを用いて、データ解析手法を修得する。</p>	

共通科目	看護哲学・理論特講	<p>(概要) 哲学や思想のもとに看護理論家が開発した看護概念や理論を概観し、理論の構造や看護現象との関係性について理解を深める。また、自らの関心領域・分野の看護現象を看護理論を用いて分析し、看護実践の基盤である看護理論を開発することの意義・重要性について学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>① 吉澤 千登勢/8回 看護実践の基盤である看護理論の歴史の変遷や看護実践への貢献および理論家が開発した概念や理論の根幹を成す哲学的思想や構造について教授する。また、看護理論を開発することの意義・重要性についても教授する。その他、学生が選択した看護現象を看護理論を用いて発表するプレゼンテーションや討論を介して当該科目の理解が深まるよう指示する。</p> <p>⑥ 平川 美和子/4回 学生が選択した看護現象を看護理論を用いて発表するプレゼンテーションや討論を介して、看護理論を開発することの意義・重要性についての理解が深まるよう指導する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)
	学際的看護ケア特講	<p>(概要) 様々な看護現象を、看護学の視点からだけではなく看護を取り巻く関連分野も踏まえ学際的な視点から捉え、主体的に探求する能力を修得する。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>⑤ 工藤 恵子/3回 ◇看護分野における課題を学際的・横断的な視点から俯瞰的に分析することの重要性や、保健師に関連する最新の学問的動向や看護の対象のニーズアセスメント・看護活動と多職種連携について教授する。また、学生が興味のある看護課題について、学際的・横断的な視点から分析した解決策の提案を通して、当該科目の理解が深まるよう指示する。</p> <p>① 吉澤 千登勢/2回 ◇看護分野における課題を学際的・横断的な視点から俯瞰的に分析することの重要性について教授する。</p> <p>⑪井手口 直子/2回 ◇薬剤師に関する最新の学問的動向や当該職種と多職種との連携の現状や、多職種連携における医療コミュニケーションスキルについて教授する。</p> <p>⑬宮崎 彰吾/2回 ◇鍼灸師に関連する最新の学問的動向やプレゼンティーズム対応、睡眠の質/夜間頻尿と鍼治療、当該職種と多職種との連携について教授する。</p> <p>⑫坂本 美香/2回 ◇作業療法士に関連する最新の学問的動向や認知症高齢者の作業訓練、発達障がい児の療育訓練、当該職種と多職種との連携について教授する。</p> <p>⑬島津 直実/2回 ◇精神保健福祉士・公認心理士に関連する最新の学問的動向や健康/医療心理学について、当該職種と多職種との連携について教授する。</p> <p>⑭芳野 純/2回 ◇理学療法士に関連する最新の学問的動向や地域リハビリテーション、当該職種と多職種との連携および連携スキルについて教授する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)

専 門 科 目 基 盤 看 護 学 領 域	看護教育・キャリア開発特講	<p>(概要) 看護基礎教育課程や臨床現場で教育を担う看護職が、授業設計や院内研修を企画・運営する上で必要な教育学上の基本的な知識や手法を学修し、看護教育に必要な実践能力を養う。また看護職の資格取得後の継続教育の現状を把握し、キャリア開発のための目標設定や管理、仕事へのモチベーション、自己成長・自己実現への取組みについて検討し、自らのキャリア開発のためのプランニングをすることができる能力を修得する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(① 吉澤 千登勢/11回) 日本の看護教育制度の歴史的経緯(法律/制度)について教授する。また、看護基礎教育の現行カリキュラムと看護実践能力、日本の看護教育の今日的課題、質の高い教育力の育成、看護職の自己研鑽とキャリア設計の重要性について教授する。その他、主体的な学びを促す教育活動(授業/院内研修の設計・方法・評価)について講義とプレゼンテーション・討論を介して理解を促す。</p> <p>(⑥ 平川 美和子/6回) 看護専門職としての成長/キャリア発達過程に関することや、キャリア開発プログラム(人的資源管理と組織の教育体制)および卒業後継続教育の重要性について教授する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)
	看護教育・キャリア開発演習	<p>(概要) 学生が関心のある「看護教育学」「看護キャリア開発」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(① 吉澤 千登勢/11回) 質の高い研究計画書の作成や最近の「看護教育学」「看護キャリア開発」に関する研究の動向について教授する。また、学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークをもとに、自己の研究の課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(⑥ 平川 美和子 /8回) 最近の「看護キャリア開発」に関する研究動向について教示する。また、学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークをもとに、自己の研究の課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)
	看護倫理学特講	<p>(概要) 看護実践の場で直面する倫理的葛藤や問題に対応するために必要な基本的知識(法律・倫理指針・倫理綱領・倫理原則など)や、看護職に課せられた倫理的責務について学修する。また、倫理事例を介して、「看護における倫理とは何か」や「質の高い意思決定支援」、「倫理問題発生時の問題解決スキル」についても学修する。</p>	
	看護倫理学演習	<p>(概要) 学生が関心のある「看護倫理学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p>	

専門科目 ケア実証看護学領域	成人・高齢者看護実践開発特講	<p>(概要) 成人期ならびに高齢者の健康・生活課題や患者を支える家族へのケア、社会支援に関する現況について、最新の看護・医療・社会状況を踏まえて学修する。また、看護の対象者の身体的・精神的・社会的QOLの向上や社会復帰、スピリチュアルケアにも視点を置き、患者・家族に適した質の高い看護ケアについても学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(⑥ 平川 美和子/8回) 高齢者看護・成人看護を取り巻く現状と課題や諸理論・概念・モデルについて教示するとともに、看護の対象者の健康と生活、QOLを支える看護実践(スピリチュアルケアも含む)、エンド・オブ・ライフケアについても教授する。</p> <p>(⑩ 河合 桃代/6回) 成人看護を取り巻く現状と課題や諸理論・概念・モデル、対象者の健康と生活、QOLを支える看護実践(スピリチュアルケアも含む)、エンド・オブ・ライフケアについて教授する。</p> <p>(7 大野 哲生/1回) 成人・高齢者の筋・骨関節疾患について教授する。</p> <p>(11 榎本 雪/1回) 成人・高齢者の神経内科学:脳血管疾患・認知症などについて教授する。</p> <p>(②小林 ひとみ/1回) 成人・高齢者の内科学:循環器、膠原病などについて教授する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)
	成人・高齢者看護実践開発演習	<p>(概要) 学生が関心のある「成人看護学」「高齢者看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講義やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(⑥ 平川 美和子/7回) 質の高い研究計画書の作成や最近の「高齢者看護学」に関する研究の動向について教授する。また、学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティックをもとに、自己の研究課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(⑩ 河合 桃代/5回) 最近の「成人看護学」の研究の動向について教授する。また、学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティックをもとに自己の研究課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(7 大野 哲生/1回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p> <p>(11 榎本 雪/1回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p> <p>(②小林 ひとみ/1回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p>	オムニバス方式
	小児看護学実践開発特講	<p>(概要) 各期の子どもの成長・発達や、これらに影響を及ぼす家族との関係性や関連要因、家庭や社会を取り巻く現況と小児医療・小児保健分野における現状について学修する。また、当該分野における最新の看護課題を提示し、看護の対象者の身体的・精神的・社会的QOLの向上に寄与することができる看護実践のあり方についても学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(③井上 ひとみ/7回) 小児看護/小児保健を取り巻く現状と課題や諸理論・概念・モデル、看護の対象者の療養と生活、QOLを支える看護実践、多職種の有機的連携によるサポートについて教授する。</p> <p>(④下山 京子/4回) 小児看護/小児保健を取り巻く現状と課題や諸理論・概念・モデル、看護の対象者の療養と生活、QOLを支える看護実践について教授する。</p> <p>(⑦中村 こそえ/5回) 小児の疾患と医療の現状と課題、小児のフィジカルアセスメントについて教授する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)
	小児看護学実践開発演習	<p>学生が関心のある「小児看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講義やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(③井上 ひとみ/11回) 質の高い研究計画書の作成や最近の「小児看護学」に関する研究の動向について教授する。また、学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティックをもとに、自己研究の課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(④下山 京子/10回) 学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティックをもとに、自己研究の課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(⑦中村 こそえ/3回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p>	オムニバス方式 共同 (一部)

専門科目	地域包括看護学領域	地域・在宅支援看護学特講	<p>(概要) 地域で生活する様々な健康レベルにある人々の現状や、在宅療養者とその家族・訪問医療/看護の現状について、当該分野における最新の看護課題を提示し、看護の対象者の抱える健康問題を生活の視点から捉え、個人・家族・集団へのアプローチのみならず、地域包括ケアシステムについても学修する。また、保健・医療・福祉の有機的連携などについても学修する。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (5) 工藤 恵子/5回) 社会的動向や経済・保健医療福祉の観点からみた地域の健康課題と地域看護の現状や、看護の対象者の健康と生活、QOLを支える看護実践、地域包括ケアシステムの現状と今後の展望、多職種による有機的連携について教授する。</p> <p>(10 益田 育子/4回) 社会的動向や経済・保健医療福祉の観点からみた在宅看護の現状と課題や、在宅療養者/家族の療養生活とQOLを支える看護実践、多職種による有機的連携について教授する。</p> <p>(12 高橋 郁子 /2回) 社会的動向や経済・保健医療福祉の観点からみた地域の健康課題と地域看護の現状や、看護の対象者の健康と生活、QOLを支える看護実践について教授する。</p> <p>(7 大野 哲生/1回) 在宅療養者のフィジカルアセスメント(生理学)について教授する。</p> <p>(11 榎本 雪/1回) 在宅療養者のフィジカルアセスメント(神経内科学)について教授する。</p> <p>(8 西 留美子 /1回) 在宅療養者/家族の療養生活とQOLを支える看護実践について教授する。</p> <p>(9 猪股 久美/1回) 産業保健と地域保健の有機的連携について教授する。</p>	オムニバス方式
		地域・在宅支援看護学演習	<p>(概要) 学生が関心のある「地域看護学」「在宅看護学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全15回) (5) 工藤 恵子/5回) 質の高い研究計画書の作成や最近の「地域看護学」に関する研究の動向について教授する。学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークをもとに、自己の研究の課題・背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(10 益田 育子/4回) 最近の「在宅看護学」の研究の動向やフィールドワークに関することについて教授する。また、学生が設定した研究課題の背景・意義を焦点化し、設定した研究課題に対する適切なフィールドの開拓や研究デザインおよび対象者、データ収集・分析方法の選定が行えるよう指導する。</p> <p>(12 高橋 郁子 /2回) 学生が関心のある研究課題の設定や学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークが適切に行えるよう指導する。</p> <p>(7 大野 哲生/1回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p> <p>(11 榎本 雪/1回) 学生の研究課題に関連する最新の病態情報について教授する。</p> <p>(8 西 留美子 /1回) 学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークが適切に行えるよう指導する。</p> <p>(9 猪股 久美/1回) 学生が設定した研究課題に関する国内外の文献クリティークが適切に行えるよう指導する。</p>	オムニバス方式
		地域保健看護学特講	<p>(概要) 地域で生活する人々が、ライフステージに応じた健康管理行動がとれるよう、保健学・看護学の視点から学修する。また、当該分野における最新の看護課題を提示し、健康の保持・増進に向けた予防的な取組みについても多角的に学修する。</p>	
		地域保健看護学演習	<p>(概要) 学生が関心のある「地域保健学」分野の課題を中心に、国内外の先行研究の講読やディスカッションを通して批判的に検討するとともに、当該看護分野の現状や課題をリサーチする。学生が提示した課題の本質について、多角的な視点から分析し、課題に適した研究デザインやフィールドの開拓などを追及することができる能力の修得と、「看護学特別研究」に向け、自己の研究テーマとなる課題の明確化を目指す。</p>	

<p style="text-align: center;">研究 科 目</p>	<p style="text-align: center;">看護学特別研究</p>	<p>(概要) 各看護学領域における特講・演習の学修を踏まえ、学生の研究動機に基づき、看護学の学術的發展に貢献しうる研究計画を立案し、研究倫理を遵守してデータの収集・分析、論文作成、発表に至るまでの一連の研究過程を通し、研究者として自立して研究を推進することができる能力を修得する。</p> <p>(① 吉澤 千登勢) ◇看護,医療倫理学:ジレンマ(分析,調整,評価)・倫理教育・ハンセン病 ◇看護教育:士力/教育力の育成、臨床研修の企画・運営・評価 ◇基礎看護学:看護の歴史,理論,初年次教育 ◇連携教育:チーム医療,連携実践</p> <p>(2 上野 公子) ◇高齢者看護学 ◇予防医学 ◇衛生学</p> <p>(② 小林 ひとみ) ◇臨床医学:内科学一般アセスメントと看護ケア ◇膠原病疾患・循環器疾患における臨床診断・治療:病態生理及び病因 ◇膠原病疾患と循環器疾患の関連:慢性炎症による心血管病変の発症 ◇最新モダリティ・人工知能を活用した診断及び治療</p> <p>(③ 井上 ひとみ) ◇小児看護学:育児支援、サポートグループの企画・運営・評価 ◇看護教育:教育力の育成、実習指導者の研修会の企画・運営・評価 ◇連携教育:小児医療から成人医療(小児がん)への連携実践</p> <p>(④ 下山 京子) ◇小児疾患を抱えキャリアオーバーしていく子どものヘルスプロモーション/ヘルスマンパワーについて ◇小児がん経験者やキャリアオーバーの子どもやその家族が抱える問題について</p> <p>(6 工藤 恵子) ◇保健事業の計画立案や評価に関すること ◇保健師の現任教育に関わること ◇在宅生活支援や多職種連携</p> <p>(8 平川 美和子) ◇慢性病看護学 ◇ターミナルケア ◇老年看護学 ◇家族看護学</p> <p>(9 善福 正夫) ◇保健行動の変容 ◇職場の健康問題 ◇学校保健</p> <p>(10 益田 育子) ◇在宅看護学 ◇高齢者の健康管理自己効力感 ◇東日本大震災と訪問看護師 ◇ホームホスピス</p> <p>(11 榎本 雪) ◇高次脳機能障害、運動機能障害、認知症など、神経内科領域の各疾患について</p> <p>(12 高橋 郁子) ◇地域看護学 ◇高齢者施設の感染対策における保健師の役割 ◇高齢者の在宅支援ニーズ ◇地域ケア会議～多職種連携～</p> <p>(⑦ 中村 こずえ) ◇小児看護における倫理:小児患者及び家族に関わる倫理 ◇疾患をもつ小児及び家族への援助:トータルケア ◇小児看護における多職種連携・地域連携</p> <p>(⑧ 西 留美子) ◇訪問看護師が在宅重症心身障がい児の被虐待を見極めるプロセス ◇難病(ALS)の介助者と訪問看護師の連携 ◇地域で支えるグリーフケアのシステム ◇地域包括ケアシステムの中での看護師の役割◇</p> <p>(⑨ 猪股 久美) ◇産業看護学:職場環境改善支援、産業看護アセスメント、労働者のメンタルヘルスケア ◇産業保健学:労働者の疲労 ◇公衆衛生看護学:地域高齢者の健康</p> <p>(⑩ 河合 桃代) ◇成人看護学:健康障害を抱えて生活する成人期の人々をとりまく諸々の課題や看護援助 ◇成人看護学:周術期看護における患者の課題や看護援助、手術室看護 ◇継続教育:看護師のわざ ◇看護教育:看護技術の習得</p>
---	--	--

学校法人帝京平成大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
【帝京平成大学】 人文社会学部 人間文化学科 人間文化専攻	210	3年次 5	850	【帝京平成大学】 人文社会学部 人間文化学科 人間文化専攻	190	3年次 5	770	
経営学科	415	3年次 5	1670	経営学科	415	3年次 5	1670	
児童学科	200	0	800	児童学科	200	0	800	
観光経営学科	118	3年次 5	482	観光経営学科	118	3年次 5	482	
健康メディカル学部 理学療法学科	100	-	400	健康メディカル学部 理学療法学科	100	-	400	
作業療法学科	60	-	240	作業療法学科	60	-	240	
言語聴覚学科	60	-	240	言語聴覚学科	60	-	240	
心理学科	116	-	464	心理学科	116	-	464	
健康栄養学科	77	2年次 1 3年次 1	313	健康栄養学科	77	2年次 1 3年次 1	313	
医療科学科	180	-	720	医療科学科	180	-	720	
ヒューマンケア学部 看護学科	129	-	516	ヒューマンケア学部 看護学科	129	-	516	
柔道整復学科	119	3年次 1	478	柔道整復学科	119	3年次 1	478	
鍼灸学科	89	3年次 1	358	鍼灸学科	89	3年次 1	358	
薬学部 薬学科(6年制)	200	2年次 0	1200	薬学部 薬学科(6年制)	200	2年次 0	1200	
健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科	120	-	480	健康医療スポーツ学部 リハビリテーション学科	120	-	480	
柔道整復学科	60	-	240	柔道整復学科	60	-	240	
医療スポーツ学科	270	-	1080	医療スポーツ学科	270	-	1080	
看護学科	135	-	540	看護学科	135	-	540	
大学 計	2658	2年次 1 3年次 18	11071	大学 計	2638	2年次 1 3年次 18	10991	

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
【帝京平成大学大学院】			
環境情報学研究科			
環境情報学専攻 修士課程	25	-	50
環境情報学専攻 博士課程	5	-	15
環境情報学研究科(通信制)			
環境情報学専攻 修士課程	50	-	100
健康科学研究科			
病院前救急医療学専攻 修士課程	3	-	6
言語聴覚学専攻 修士課程	3	-	6
健康栄養学専攻 修士課程	3	-	6
理学療法学専攻 修士課程	3	-	6
作業療法学専攻 修士課程	3	-	6
鍼灸学専攻 修士課程	3	-	6
柔道整復学専攻 修士課程	3	-	6
健康科学専攻 博士課程	5	-	15
臨床心理学専攻 博士課程	2	-	6
臨床心理学研究科			
臨床心理学専攻 (専門職学位課程)	15	-	30
薬学研究科			
薬学専攻 博士課程	5	-	20
看護学研究科			
看護学専攻 修士課程	3	-	6
大学院 計	131	-	284
【帝京平成大学 通信教育】			
経営学科 (通信教育課程)	220	2年次 20 3年次 30	1000
通信教育 計	220	2年次 20 3年次 30	1000

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
【帝京平成大学大学院】				
環境情報学研究科				
環境情報学専攻 修士課程	25	-	50	
環境情報学専攻 博士課程	5	-	15	
環境情報学研究科(通信制)				
環境情報学専攻 修士課程	50	-	100	
健康科学研究科				
病院前救急医療学専攻 修士課程	3	-	6	
言語聴覚学専攻 修士課程	3	-	6	
健康栄養学専攻 修士課程	3	-	6	
理学療法学専攻 修士課程	3	-	6	
作業療法学専攻 修士課程	3	-	6	
鍼灸学専攻 修士課程	3	-	6	
柔道整復学専攻 修士課程	3	-	6	
健康科学専攻 博士課程	5	-	15	
臨床心理学専攻 博士課程	2	-	6	
臨床心理学研究科				
臨床心理学専攻 (専門職学位課程)	15	-	30	
薬学研究科				
薬学専攻 博士課程	5	-	20	
看護学研究科				
看護学専攻 修士課程	3	-	6	
看護学専攻 博士課程	3	-	9	研究科の設置(認可申請)
大学院 計	134	-	293	
【帝京平成大学 通信教育】				
経営学科 (通信教育課程)	220	2年次 20 3年次 30	1000	
通信教育 計	220	2年次 20 3年次 30	1000	